

普通科（数学A）授業指導計画

指導者

1 日 時 令和6年2月16日（金） 5限

2 実施教室 12HR教室（南館1階）

3 H R 12HR

4 生徒観

本学級の生徒は、数学に苦手意識を感じている生徒が多く在籍しているが、授業態度は良好である。課題にも集中して取り組むことができおり、ペアワーク等を通じて他者とも協力して理解する経験を多く積ませたい。

★

5 単 元 等式と不等式の証明（式と証明）

6 本時の目標

「グローバルな視点に立ち、科学的思考によって課題を発見する能力の育成」のもと、これまでの様々な証明方法を式の証明に拡張し、等式の原理・法則を体系的に理解するとともに、等式において証明していく技能を身に付ける。

7 本時の展開

時間	指 導 事 項	留 意 点
導入 (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 等式の意味とその方法について考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 方程式・恒等式の振り返りを電子黒板で行い、違いを確認する。
展開 (35分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 等式の証明には、(左辺) と (右辺) それぞれ整理する方法と (左辺) - (右辺) = 0 で証明する方法とがあることを理解させる。 ・ 条件のある場合は活用して等式の証明を考えさせる。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 初めから=が成り立っているわけではないことを認識させる。 ・ 条件をいかに利用して等式の証明を考えさせるとともに、そのときの条件の扱い方を学ばせる。
まとめ (5分)	<ul style="list-style-type: none"> ・ 等式の証明には2つの方法があることを確認し、様々な等式や不等式の証明に挑戦していくことを伝える。 	<ul style="list-style-type: none"> ・ 等式の証明の手法が、次時の様々な不等式の証明に繋がっていくことを認識させる。

※SSHに係る目標

- 「グローバルな視点に立ち、科学的によって思考力によって課題を発見する能力の育成」
- 「他者との協働により、課題を解決する行動力・コミュニケーション能力の育成」
- 「未来につながる新しい価値観を創造する力の育成」